

株式会社 安藤建設の取材を終えて 内田

安藤建設は元請け業者として更地の状態から建物の完成までを担う建築一式工事という業務を担う会社である。そのため建築の9割を外注で行い、安藤建設は専門業者への発注・確認、工程・安全・予算等の管理が主である。

安藤建設は、「地域と共に発展する建設業」を企業理念に据えており、この理念を元に地域貢献活動に力を入れている企業である。地域に必要とされる企業になるためには地域に寄与する施設の建設が必要であると捉え建設業を行っている。これこそが建設業と社会の発展につながると考えている。

安藤建設は地域貢献活動の中でも学生（特に小学生）に対する活動に力を入れている。具体的な活動には以下のとおりである。

- ・ウメニーというマスコットキャラクターのプロデュース
- ・環境絵日記の表彰
- ・インターン、職業体験の受け入れ

学生に着目した理由は以下の点である。

- ・工事現場は柵や塀で囲まれており普段目にする機会はあまり多くない。そのため建設業を早い年齢から知ってもらうことで建設業に興味を持ってもらう。
- ・小学生に対してアプローチをすることで教師や児童の両親や親族といった人たちにアプローチすることができる。
- ・小学生は入学と卒業を繰り返すので毎年同じ活動を行っても対象とする人が変わり効率的に多くの人にアプローチすることができる。
- ・大学生はCSR活動を通して利益を上げることに理解がある。

先述のCSR活動を通して企業内にも様々な変化が起こった。

- ・同僚や社長と触れ合う機会が増える。
 - ・社長の考え方を理解する助けになる。
 - ・仕事とプライベートの中間の活動として新たなコミュニケーションのツールが生まれた。
- このように数字に表れる点以外で様々な経営的な効果が上がっている。

また、CSR活動をやることで企業の知名度が上がったり、CSR活動を通して出会った人から仕事を頼まれるといった効果も上がっている。